

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2024年4月現在

基本情報					
フリガナ 氏名	タカハシ 高橋	ユリ 侑里	生年	1988年	
氏名(英字)	TAKAHASHI	Yuri	メールアドレス	yutakaha(@)mail.doshisha.ac.jp	
学歴	2007年4月 京都ノートルダム女子大学 人間文化学部 英語英文学科 (在学留学:Notre Dame of Maryland University English Language Institute 2009年4月~2009年7月) 2011年3月 京都ノートルダム女子大学 人間文化学部 英語英文学科 卒業 2011年4月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻博士前期課程 入学 2013年3月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻博士前期課程 修了 2013年4月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻博士後期課程 入学 2017年9月 ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 人類学研究科社会人類学専攻 入学 (私費留学) 2020年12月 ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 人類学研究科社会人類学専攻 修了 (私費留学) 2022年3月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻博士後期課程 修了				
職歴	2011年4月-2012年3月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 SA 2014年4月-2015年3月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 SA 2015年4月-2016年3月 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 TA 2022年4月-現在 同志社大学研究開発推進機構及びグローバル地域文化学部 特別任用助手 (有期研究員)				
指導教員	富山一郎 教授	取得学位	博士(現代アジア研究)	専修外国語・読解可能な外国語	英語
研究活動					
研究分野	都市人類学, アジア系アメリカ人, 映画祭, 労働				
科研究分類による研究分野	地理学, 文化人類学, 民俗学およびその関連分野				
研究テーマ	アジア系アメリカ人映画祭、及び芸術的労働				
研究概要	本課題は、アメリカ合衆国、サンフランシスコにおいて毎年開催されているアジア系アメリカ人映画祭を対象とする都市人類学研究である。映画制作/上映活動に着目し、アジア系移民の歴史記憶、コミュニティ形成、及び、抵抗運動と労働が不可分にある活動過程を調査・分析し、ポスト・フォーディズムにおける芸術活動をめぐる労働の質的変容についての解明をおこなった。質的調査によって収集したデータをもとに、人類学者、デヴィッド・グレーバーの理論的枠組みを参照し、論文を執筆してきた。				
研究業績	口頭発表(国際学会) Yuri Takahashi, <u>Bridging the legacy of Japanese Americans with multicultural solidarity : A case study of Los Angeles based filmmaker Tad Nakamura</u> , Summer Institute in Asian American Studies through Asia, Taiwan, August, 2013. “What Divides Asian Americans between Us and You?, The Case Study ‘Comfort Women’ Memorial Controversy in San Francisco.” Yuri Takahashi, Masumi Izumi, Scott Tsuchitani, “Re-imagining Points of Departure for Japanese American Studies.” Association for Asian American Studies Annual Conference, Miami, United States of America, April, 2016. “Asian American Film Media Activism; Film Festival as crossed community place.” 11th DMZ International Doc Film Festival Conference “Cinema, North Korea, and Division of Nation,” Lotte Cinema Paju, South Korea, September, 2019. Yuri Takahashi, “Asian American Film Production/Screening Activism on Artistic Labor,” Throwing Lifelines Across Borderlines, zoom開催, March 2022. 口頭発表(国内学会) Yuri Takahashi ‘The Asian American film festival as a Contact Zone: The rethinking the subjectivity of Japanese Americans in the perspective of representation and bordering’, Kazuki Nishikawa, Yoko Asato and Yuri Takahashi “Bordering Japan: The Representation as Act of Bordering”, Asian Studies Conference Japan 2015, Meiji Gakuin University, Tokyo, June 2015. Yuri Takahashi ‘Rethinking the study of Japanese American through the documentary film The cats of Mirikitani’, “Narrative/Visual/ Power for Minorities”, Cultural Typhoon, Osaka, June 2015. 著書(共著) 『移民が紡ぐ日本-交錯する文化のはざままで』(文理閣)、河原典史、高橋侑里、他6名、「第7章 ドキュメンタリー映画『ミリキタニの猫』から問う日系アメリカ人の戦争記憶」(pp.155~173)、2018年3月。 (受賞歴) 高橋侑里、「社団法人日米協会、アメリカ大使館 米国研究プログラム2012」に選出され、修士論文執筆のための研究助成授与。「アメリカ研究者の集い2012」、Demonstrating who we are -A case study of Tad Nakamura-, 東京国際会館、2012年9月。				

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

所属学会	マイグレーション研究会、北米エスニシティ研究会、都市文化研究会
キャリア関連	
志望進路	教員(大学・高専)、研究員(研究機関・企業)
進路	摂南大学 講師
自己PR	博士課程在学中より、アメリカ合衆国、サンフランシスコのアジア系移民社会に関する研究に取り組んでおり、現在は特に新自由主義における労働と社会運動の関連について研究しています。移民研究から、政治・経済まで幅広く扱い、研究しています。
取得資格等	

※メールアドレスの(a)は@を表しています